

実施日：平成28年6月22日(水)	
領 域：道徳	
取組名：元気の出る言葉がけ ～ふわふわ言葉とチクチク言葉～	
対 象：3年	実施場所：教室
ア ねらい ・言葉によって、気持ちが温かくなるときと、気持ちが落ち込むときがあることを知り、友だちにどんな言葉をかけたらいいかを考える。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 ① 自分が言われて嬉しかった言葉と悲しかった言葉についてふりかえる。 ② 自分が言われて嬉しい言葉と悲しかった言葉を選び、ペアを作って実際に言い合う。 ③ 今後、友だちにどんな言葉がけをしたらいいかを考える。（自己決定）	
ウ 連携先： 家庭	
エ 連携にむけての取組 ・日ごろの活動や取組を教室に掲示したり、学級通信に載せたりすることで発信する。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 ・一回の授業で終わりにするのではなく、定期的に自分自身をふりかえる機会をもつようにする。 ・自分たちで出し合ったふわふわ言葉・チクチク言葉をいつも見えるところに掲示しておく。	
カ 評価の方法 ・ふり返りシート ・児童の観察	
キ 成果 ・言われて嬉しい言葉をロールプレイで実践する際、笑顔がこぼれる子どもが多くみられた。 ・嬉しい言葉を言ってもらったときに、自然と「ありがとう」と返事するところに、児童の気持ちが表れていると感じた。 ・たとえ悪気のない言葉でも相手にとっては傷つくこともあることに気づくことができた。	
ク 課題 ・これからも定期的に、自分の発している言葉について振り返る時間をもつ必要がある。 ・温かい気持ちになれる言葉をみんなが使うことによって、クラスの雰囲気をやかにし、より一層認めあえる環境をつくっていきたい ・中学年の活動にとどまらず、全校での取組に広げていきたい。	